

奈良先端大東京フォーラム 2014 仕様書

1. 件名

「奈良先端大東京フォーラム 2014」の企画・運営及びマスメディアによる情報発信業務

2. 目的

本業務は、本学主催によるフォーラムを東京で開催することにより、主として産業界の関係者に最新の先端科学技術の動向や今後の展望、大学の使命等についての理解を深めてもらうとともに、フォーラムの開催を通じてマスメディアを活用した本学の特色や研究内容等の情報発信を行い、本学の全国的な認知度の向上を図るものである。

3. 業務内容及び基本仕様（以下を基準とし、具体的企画内容を提案すること）

(1) 「奈良先端大東京フォーラム 2014」の開催及びこれに付随する企画・運営業務

テ ー マ：「未来の創造－イノベーション創出と大学院の役割－」（仮）

内 容：プログラムは主催者挨拶、基調講演及びパネルディスカッションから構成される。なお、パネルディスカッションについてはテーマ設定を行うこと。基調講演は講師 1 名、パネルディスカッションはパネリスト 4 名程度と司会者（コーディネータ）によって行うものとする。

対 象 者：産業界を中心に、その他研究者、学生、一般市民等。

地 域：東京都 23 区内。

会 場：500 人程度収容できるホールを持つ施設。

開催日程：平成 26 年 10 月中旬の平日。

参 加 費：無料。ただし、事前予約により参加者数確保に努めるとともに、希望者多数の場合は抽選等により参加者を決定する。参加者へは参加券を事前送付する。

講 師 等：以下のとおり（候補者を具体的に例示すること）。

① 基調講演－講師

テーマに沿って先端科学技術研究の展望等について語ることのできる、著名で評判の高い有識者。

② パネルディスカッション－パネリスト

テーマに沿って先端科学技術の展望等について討論でき、科学技術政策、先端科学研究の現状について造詣が深く、著名で評判の高い有識者。

③ パネルディスカッション－司会者（モデレータ）

モデレータ実績のあるアナウンサー等。

運 営：会場設営、受付、資料配布、誘導、進行、アンケート回収、記録等。

(2) フォーラムの開催案内・開催報告及び本学の特色・研究内容等のマスメディアを通じた効果的な広報による本学の全国的な認知度向上

内 容：①フォーラムの開催案内等を新聞、インターネットその他の広告手段を用いて発信し、集客効果を高める。(本学 HP に掲載するデザインの作成を含む)

②インターネット等によるフォーラムの予約申込受付業務を行う。

③フォーラムの開催報告を全国に発信し、社会への話題提供及び本学のイメージアップを図る。

④上記①及び③を通じて本学の取組等について広報を行い、本学の全国的な知名度の向上を図る。

(3) 業務報告書の作成等事業成果のとりまとめ

内 容：フォーラム終了後、業務報告書、フォーラムの録画記録 (DVD)、音声データ、テープ起こし原稿及び回収した参加者アンケートとその集計結果を提出すること。

4. 実施期間

契約日～平成 26 年 11 月 30 日

5. 予算額 (積算する際の目安とすること)

750 万円 (税込)